

サーキット・ライダー 2004年 9月号

土台作り

「そこで、わたしのこれらの言葉を聞いて行う者は皆、岩の上に自分の家を建てた賢い人に似ている。雨が降り、川があふれ、風が吹いてその家を襲っても、倒れなかった。岩を土台としていたからである。わたしのこれらの言葉を聞くだけで行わない者は皆、砂の上に家を建てた愚かな人に似ている。雨が降り、川があふれ、風が吹いてその家に襲いかかると、倒れて、その倒れ方がひどかった。」 マタイ 7：24－27。

私が子供の頃、母が良くこの聖書の箇所を振り付けて歌ってくれました。「愚か者が家を建て、砂の上に家を建て、雨が降り、川あふれ、その家は倒れた・・・」真実を端的に語っているイエスの言葉です。砂の上に土台を築いても土台は勿論安定しないので、常識がある人であればこのような愚行はしないでしょう。今でこそ日本も高層ビル化が進みましたが、私がアメリカに来た24年前は、池袋のサンシャイン・ビルがまだ日本で一番高いビルで、あと新宿に高層ビルが3つあるくらいでした。ですからマンハッタンを初めて訪れた時、あの世界貿易センター・ビルも含め、摩天楼の多さに驚きました。特にニューヨーク・クイーンズ区やニュージャージー州からマンハッタンに入る直前、高速道路が見るマンハッタンの姿はそびえ立つ要塞にも似た勇壮な巨大都市というイメージでした。マンハッタンは硬い岩盤でできた島ですから、土台をそこに築いたビルは揺れ動きません。初めてそのことを知った時「正にイエスの譬え通りだなあ・・・」と感心しました。

勿論、この譬えは建築の話をしているのではなく、人間の話をしていることは皆様にはお分かりだと思います。イエスは伝道の途中で弟子のシモンを選び、彼をペトロ（岩）と呼び、その岩（ペトロ）を土台に教会を立てることを約束しました。つまり岩の上に建物を建てるということは、聖書の教え、教会の上に人間形成（信仰）し、魂の救いを受けるということです。この人間形成ができていない人は、本人の救いが危ういのみならず、他者をも惑わしてしまいます。あまり政治的な発言はしない方が良いでしょう、先日の共和党大会でのお祭り騒ぎにはほとんど呆れると共にアメリカの、また日本の行く末、世界の将来を考えさせられました。テロリストの脅威を強調し「やられる前にやっつけろ！」的な自己中心の発言を相変わらず繰り返す現大統領及び共和党、ひいてはアメリカの姿は他国の人々、賢者に耳を傾けない愚か者の姿そのまま、砂（やがては無くなる力）の上に家（権威）を築く人に思えました。自分たちの身の安全さえ守られれば他者はどうなっても良いという考えこそは神を恐れない自己義認、自己中心、自己陶醉の最も忌まわしい罪と言っても言い過ぎではありません。

これは政治の世界に限ったことではなく、私たちの日常でも大なり小なり同じことをしていると言えます。私たちは何を信じ、何を頼りに生きているのでしょうか。金の額に表される豊かさ、家、土地、学歴、地位、名誉・・・自分。もし皆さんが永遠のお方である神以外の物を信じ、頼りにしているとしたら、それは砂の上に家を建てるようなもの。お金や物はやがては無くなりますし、時には社会情勢が変わるだけで無価値になってしまう変動的な物です。学歴、地位、名誉も自分がいる限定された地域社会だけに通用する物で普遍的価値はありません。更に「自分を信じる」という表現を誤用している方は始末が悪い。この言葉には二つの違う意味があることを理解しなければなりません。私たちは仕事をするにも人と付き合うにも、何をするにも自信を持つのは大事です。自分の可能性を信じて生きることはすごく大切なこと。私自身、勉強や仕事をする時「自分の力」を信じます。さもなければテストで悪い点を取る度に自信喪失し学校など行けなくなります。また仕事でミスをした時「ミスを取り返すよう頑張ろう！」という思いになります。

ですが、上述の「何を頼りに生きている？」という問いに対して「自分を信じている。」と答える人は、およそ自分を知らない愚か者としか言いようがありません。その人は自惚、傲慢、無知を自分で曝け出しています。どうしてミスをし、失敗する不完全な自分を信じられるのでしょうか？もし「私はミスも失敗もしない」という人がいたら、それこそ欺瞞です。何故、感情によって左右されたり、判断を誤ってしまう自分を信じる対象にできるのか私には分かりません。人は謙虚になり、神の言葉、他者の言葉に耳を傾け、揺ぎ無いお方の上に自分を築いていくことが求められています。新しいシーズンが始まりました。イエス・キリストを信じて、共に土台作りをしていきましょう。

吉松 純

***礼拝：午後４時。Jr.教会（教会学校）：午後４時時、礼拝に出席後、分級に進みます。**

***祈られたい方の為に礼拝堂を午後３時３０分より開放しています。どうぞご利用ください。**

***聖日予定：**

９月 ５日：自由祈祷会、礼拝、聖餐式

１２日：アメリカ人と合同礼拝、午前１０時。礼拝後、持ち寄り昼食会。パークリッジ合同メソジスト教会の９５周年記念式とメモリアル・ガーデンを捧げる礼拝です。共にお祝い下さい。通常の日本語礼拝はありません。

１９日：自由祈祷会、礼拝、司会、荒美俊三兄、Jr.教会（日曜学校スタート）

２６日：自由祈祷会、礼拝、司会：荒美和子姉

１０月 ３日：自由祈祷会、礼拝、聖餐式

***集会、行事予定と報告**

９月 ７日（火）ホームレス・シェルターのお手伝い。午後６時～。イングルウッド、セント・セシリア教会にて。詳しくは吉松牧師まで。

１２日（日）９５周年祝会（上述）

１５日（水）午後８時より、聖書研究会、日本語オフィス。

２１日（火）午後７時３０分より、岡本兄姉宅。中野雄一郎牧師をお招きし持ち寄り夕食会、集会を持ちます。

２４日（金）午前１０時３０分、聖書の学び。牧師館にて。

*フォート・リーの集会はゴーマン・ロバート兄、由美子姉提案の新しい企画を準備中で、今月は準備期間でお休みとなります。

***御協力お願い致します。**

*ハーベスト・タイム放映の為、献金、お祈りのご協力をお願いいたします。

*使用済み切手を集めています。ご協力下さい。消印のついた切手の周り１センチくらいの余白を残して切とって下さい。切手は日本キリスト教海外医療協力会（J O C S）に送ります。J O C Sは切手を換金し得られた収益金で海外に医療関係者を送ると共に医療関係者の育成をしています。

*H O P E（The Heart of Pediatric Electrophysiology）というボランティア団体にもご協力下さい。

Electrophysiology という特有の心臓病を患う子供を救う為、寄付金を募り患者や家族に送ったり、病院などの情報交換をしています。募金を下さる方はあて先をH O P Eとしてください。

*昨年よりケニアの恵まれない子供達やエイズの患者さん為に特別献金をしています。ご協力下さい。

連絡先：英語オフィス（２０１）３９１－５４９９日本語及びファックス（２０１）５０５－０３４７

ホームページ：<http://umc-japan.org> 吉松牧師宅 （２０１）３９１－２２０８ pastor@umc-japan.org

教会学校担当：松尾孝恵姉 （２０１）８０２－１７６９ takae723@hotmail.com